# お知らせ掲示板

栗東国際交流協会（RIFA）は、会員をはじめ多くの方々のご協力で、「国際交流・多文化共生」をテーマに活動を行っています。4 月に開催されます総会で、平成 25 年度の事業方針などが決まります。

## H25 年度 RIFA 総会

【日時】4 月 21 日（日）10:00～12:00

【場所】栗東市役所 2 階　会議室

【内容】 ①総会 10:00～11:00

・平成 24 年度事業報告、決算

・平成 25 年度事業計画案、収支予算案

②お話　11:00～12:00

青年海外協力隊の森　栄梨子さんのお話

（2013 年 3 月までホンジュラスで活動されています）

【対象】RIFA 会員

※会員の過半数の参加（委任状含む）が必要です。
会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

## 会員募集中！

【会員特典】

当協会イベントや講座参加費の割引

会報「Koryu」やイベント案内のお届け

【年会費】

個人 2,000 円　家族 3,000 円　法人 10,000 円

各種イベント、講座の申込・お問い合わせは
RIFA 事務局まで（月～金　9:00～17:00）

**電　話:077-551-0293　Fax:077-554-1123**

**メール:mail@rifa.jp**

**ホームページ:http://www.rifa.jp**

## 通年事業

◆外国人相談窓口（ポルトガル語）

毎週水曜日 13:00～17:00

栗東市役所 3 階　栗東国際交流協会内

◆日本語教室

第 2,4 土曜日 10:15～11:45

コミセン大宝東

◆中国語自主講座

土曜日（月 3,4 回）10:00～12:00

コミセン治田東

## ボランティア募集!!

より積極的に楽しく RIFA で活動してみませんか？
主な活動は以下の通りです。

☆文化交流委員会☆

・イベント企画運営

・友好都市、姉妹都市との交流

☆総務広報委員会☆

・会報誌 koryu の発行(年 4 回)

・会員拡大、協会の PR 活動

・HP の更新

☆その他ボランティア活動☆

語学（通訳、翻訳）、日本語指導

春夏秋冬

ついこの間、年賀状の遣り取りを終えたばかりと思いきや、もう直ぐ今年の四半期が過ぎようとしております。梅や桃、そして間もなく、日本の国花である桜の開花便りが聞かれる季節が訪れ、我々の花を愛でる純粋な心を一杯にしてくれることでしょう！
さて、ご案内の通り、4 月 21 日(日)開催の RIFA 総会を皮切りに、15 周年であるこの一年も、様々なイベントが企画されております。特に秋には、姉妹都市ミシガン州からの大切なお客様をお迎えする予定ですので、会員の皆様方の積極的なご参加を、心よりお待ち致しております。（T.O）

答え→②ドイツ　ドイツのミュンヘンにスープ配給所が開設され、付近の学校から引率された生徒たちが、スープをもらったのが始まりだと言われています。



栗東国際交流協会　会報
Koryu
Ritto International Friendship Association
Vol.53
2013 年 3 月号

〒520-3088
滋賀県栗東市安養寺 1-13-33
TEL:077-551-0293
FAX:077-554-1123
メール:mail@rifa.jp
ホームページ:http://www.rifa.jp
Facebook:http://www.facebook.com/RIFA.

# Japanese cooking 日本の鍋料理

1 月 20 日(日)栗東コミセン葉山にて、外国籍の方を対象に Japanese cooking を行いました。今回は中国とベトナムの方が参加してくださいました。日本の冬といえば“鍋料理”ということで、水炊き、ちゃんこ鍋、豆乳鍋を外国籍の方と囲みました。各国の鍋料理などのお話を聞き、楽しいひとときを過ごすことができました。（参加者約 15 名）

日本の鍋 外国人ら舌鼓
栗東で催し 市民と協力し調理

1/21 付の京都新聞に掲載されました

ベトナムでは、結婚式のパーティで海鮮鍋などを食べるそうで、中国では、火鍋などの辛い鍋が多いそうです。

## 第９回 BNN外国人による日本語スピーチ大会

2 月 10 日(日)栗東芸術文化会館さきらにて、びわこ日本語ネットワーク主催の日本語スピーチ大会が開催されました。8 カ国 14 名の方が出場され、RIFA からは亢崇陽（こうすいよう）さん（中国）と李雪（りしゅえ）さん(中国)が出場されました。

またエンターテイメントとして、RIFA 副会長の奥村敏子さん（キーボード）と RIFA 会員の石川輝伸さん(歌)による「世界の歌」の披露もありました。スピーチ大会出場者お二人の記事は、3,4,5 面をご覧ください。

亢　崇陽さん

李　雪さん

第３回

# 世界と出会う玉手箱　世界の太鼓

２月 17 日(日)栗東コミセン大宝東にて、世界と出会う玉手箱を開催しました。JICA(独立行政法人国際協力機構)と RIFA 共催の親子向け国際教育ワークショップです。今回は、青年海外協力隊として、西アフリカセネガルで小学校教諭として活動されていた森万佐子さんから、現地での様子や活動内容を聞かせていただきました。その後、関西で活動されているドラムサークル“ぽむ･るーじゅ”さんを迎え、参加者皆さんで世界のいろいろな太鼓の演奏に挑戦しました。（参加者約 40 名）

講師の森万佐子さん
セネガルの鮮やかなグリーンの民族衣装を着てお話してくださいました。

ぽむ･るーじゅさん指導のもと、世界のいろいろな太鼓演奏を、子どもたちはもちろん大人の方も一緒に楽しみました。

# 国際理解講座　ペルーってどんな国？

２月 24 日(日)栗東コミセン大宝東にて、国際理解講座を開催しました。今回は、ペルー出身の小梶アリシアさんと中ルーシさんを講師に招き、ペルーについてのお話と、ペルー料理“カウサ　レジェナ”を参加者皆さんで作りました。(参加者約 15 名)
栗東市には約 980 人の外国籍の方がおられ、そのうちペルーの方は約 120 人おられます。(2013 年 3 月現在)

講師の小梶アリシアさん
日本に来たきっかけや、ペルーと日本の文化の違い、ペルーの食文化などをわかりやすくお話してくださいました。

お話の後に参加者皆さんで、ペルー風ポテトサラダ“カウサ　レジェナ”を作りました。まるでデコレーションケーキのように彩りが綺麗な、パーティーにぴったりの料理です。

# 「日本人の時間の感覚」

亢　崇陽

皆さん、こんにちは！私は亢　崇陽と申します。中国から来ました。今日は中国で旧正月です。ご来場のみなさん新年おめでとうございます！今日は「日本人の時間の感覚」についてお話ししたいと思います。よろしくお願いします。

私は 10 年前、日本に留学に来ました。初めて日本に来た時、日本人はご飯を残さずに食べることに気が付きました。ご飯をきれいに食べなかったり、残したりする中国人に比べ、これはとても良いことだと思います。

日本人は食べ物を粗末にしないだけでなく、日常生活の中で、節電や省エネ等の活動も積極的にしています。その背景は、日本は狭い国で、資源はあまりないことが関係していると考えましたが、実は、日本人は誰にとっても平等に与えられている時間も、大事にして上手に使っていると感じています。

私は時間について、「日本は時間がとても正確です」、「日本人は時間を守ります」という印象を持っています。私は、常に時間通りにやってくる日本の電車が大変好きです。いつも時間通りに運行していて、1 分の遅れでも車内で遅れることとお詫びのアナウンスがあります。中国出張の時、電車や飛行機が遅れることが何度もありました。しかし、遅れた状況の説明はほとんどありませんでした。中国のように飛行機や電車の遅れがありふれた状況は中国人として恥ずかしいと思っています。

また、日本に来てから宅急便をよく利用しています。日本の宅急便は到着時間を指定でき、荷物が時間通りに届いて本当に便利です。

中国では、昼の少し前に友達と約束して食事に行くことがよくありました。日本では少なくとも一週間前に何曜日何時に一緒に食事に行くことを約束し、帰る時間も決めておくということがよくあるそうです。病院、美容室、ホテル、レストランなども予約制度があります。どれも予約をすることで無駄に待ち時間が出ないようにしています。さらに、一年先の航空券を予約する人もいると聞きました。

約束に遅れないのは当然のこととした上で、早すぎてもいけないし、私は就職面接に行く時は、定刻の 5 分前に現地に着くのがベストだと教えられました。

時間に正確なこと、時間を守ることは本来いいことなのです。誰と約束してもお互い気持ちよく行動に移れますし、決まった時間に決まったことをする事は時間を有効に使っていることになります。日本人は、約束時間に遅れそうになると事前に相手に伝えます。これは日本人の素晴らしいところだと思います。しかし、すごく簡単なことのようでこれは海外ではまずない感覚だと思っていた方がいいでしょう。

日本人は海外の人々から、「時間に厳しい」とよく言われます。大学を卒業するちょっと前、JR 西日本で脱線事故が起こりましたが、あれも時間に追われた運転士がスピードを上げて時間を取り戻そうとしたために起こった事故です。しかし JR だけを責めることはできません。少しでも時間が遅れたら、すぐに文句を言う乗客たちの態度にも問題があると思います。

海外に出た時の日本人の悪いところは、自分の時間の感覚を他の人にも押し付けることでしょう。「なんで遅れたんだ」「なんで時間通りにできないんだ」と時間の感覚がまったく違う相手に怒っても、相手は“いったいこの人はなんでそんなに怒ってるんだろう？”と理解できないでしょう。時間に関しては日本から一歩出たら寛大でいる必要があると思います。

また、最近では「日本人は時間を守らない」という話をネットで見つけました。投稿はインドネシア人看護士で、『日本人は時間を守りません。遅刻に対しては大変厳しいのに、仕事の終了の時間は守ったことがありません』ということです。これは労働時間に関する考えに違いがあると思います。日本人は「働き過ぎ」や「過労死が多い」等とよく批判されています。

今後、グローバル化がいっそう進む中で、「遅刻に厳しい」ことがスタンダードになるのか、それとも「遅刻に甘い」文化が日本にも輸入され、スタンダードになるのか、「仕事の終了時間を守らないか」、「時間内に済ませることが大事」にするかを真剣に考えることで日本人の時間の感覚は少しずつ変化するでしょう。

ご清聴ありがとうございました。　（原文のまま）

# 第9回BNN外国人による日本語スピーチ大会

2/10(日)

## 李 雪(り しゅえ)さん 亢 崇陽(こう すいよう)さん 出場!!

2013 年 2 月 10 日（日）栗東芸術文化会館さきらにて開催された、びわこ日本語ネットワーク(BNN)主催の第 9 回日本語スピーチ大会に、RIFA からは中国の李雪さんと亢崇陽さんが出場され、李さんが見事に BNN 賞を受賞されました。

びわこ日本語ネットワークとは、滋賀県下の日本語教室で学ぶ学習者と、日本語学習支援ボランティア、行政、地域の人々を結ぶネットワークです。

出場者は、6 分間のスピーチを暗唱しなければならず、母国語以外の日本語を暗記し、大勢の観客の前でスピーチすることは、日本人でも難しいことですが、どの出場者の方も堂々と、心に響く素晴らしいスピーチをされていました。今回は、お二人のスピーチ大会の原稿をご紹介します。

## 「共に生きよう」

李 雪

皆様こんにちは、李(り) 雪(しゅえ)と申します。私は中国四川省の出身です、19年前に来日して、福島県の須賀川市に住んでいました。福島県はお米、果物、野菜などの農産物が豊富で、四季は綺麗で、人々は優しくて、とても住みやすい土地でした。

2011年3月11日14時46分、地震が起き、今回の地震は最初からかつてないほど激しく揺れ、いつまで経っても収まるどころか、ますます強く揺れていきました。私はこれまで地震で逃げようと思ったことはありませんでしたが、今回は外に出ないと玄関や窓が変形して出られなくなると感じました。ベランダに出ると、地面が波打ち、周りの家や庭の塀がまるでおもちゃのようにばたん、ばたんと倒れていく光景が目の前にありました。少し揺れが収まり、1階に降りると、照明器具は落ち、壁も家具もあらゆるものが倒れ、長男はテーブルの下にうずくまっていました。二人で外に飛び出しましたが、外はとても寒くて、余震が少し収まると家に入り、また揺れると飛び出すということを繰り返しました。次男はまだ小学校におり、保護者のお迎え待ちだと聞いたので、車で学校に向かいました。途中、道路には亀裂が入って、屋根や瓦が落ち、塀など倒れていましたが、周辺の住民が素早く道の障害物を取り除いてくれたおかげで、車が通ることができました。学校に着くと、子ども達は全員校庭に集合して、泣く子ども、不安そうな顔して家の人のお迎えを待つ子ども…余震はその後もずっと続き、水、ガス、電気は止まりました。アナウンスの案内で避難所に行ったが、その日は食事の配給は無くて、開いていた数軒のコンビニへ食料を買いに行ったが、既に水も食品もなくなって、今まで「大地震はひとごと」と思って、非常食を準備していなかったことを、とても後悔しました。

3月12日、この日を境に福島県の災害はこの東日本大震災とは異質なものへと変えていくことになりました。福島原子力発電所の1号機が爆発して、14日、3 号機の爆発がありました。残りの2号機、4号機もいつ爆発してもおかしくない、極めて危険な状況です。情報混乱した中、近所の人や、友人達は避難し始めた、「ここは危険でもう居られない」と認識して、滋賀県の友人と連絡が取れて、向かうことにした。バス、新幹線は運休、再開の見通しはつかない。航空会社には電話は通じません。空港から臨時便が出ていると聞き、ガソリンが持つかどうか心配しながら空港へ。いつも閑散としている福島空港には、毛布をかぶり泊まりこんでいる人達もおり、ヤクルトと皮を剥いた林檎があって、食いしん坊な次男に長男はこう言った。「ひろし、皆の事を考えて、ひとつだけだよ」と、その言葉を聞いて、今まで試行錯誤の子育てに少し自信が付いた気がした。ロビーには長い長い行列、人が溢れるほどいっぱいでした。混乱するのが当たり前の状況の中、誰もが先んじて乗りたい、でも誰も割り込んだりせずに黙々と自分の番が来るまで並びました。このことは被災地やニュースを日本人の秩序を守る姿や助けを受けたおばあさんが「ご迷惑をお掛けします」と謝る姿を世界中の人々が驚き、感動し絶賛して、日本の方々には本当に敬服します。その後、新千歳空港経由で関空に来て、空港から電車に乗ると、こちらはなんの変りもなく、普通の風景と暮らしがあり、涙がポロポロと止まりませんでした。友人宅で二日間泊まって、市営住宅を申し込んで、自治会の方々が食器や子どもの服、生活用品などを持って来てくださって、学校の校長先生や先生方も暖かく心細い子ども達のことを受け入れて下さいまして、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした…この震災で私は沢山の物が失われました。しかし、それと引き換えに、もっと大切な物を得られた気がします。それは感謝の気持ちです。命を、そして生きられる幸せに感謝します。人間は一人では生きていけません。「人」という漢字は二人が支えあって初めて人となります。

助け合って共に生きる、私達は出会えた人々との繋がりを大切にして、ここからスタートして、新しい生活を築かないといけない、そして、いつか必ず故郷福島へ戻って暮らしたいと思っています。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださり誠にありがとうございました。

（原文のまま）

マミーズバンド奏によるオープニング

アトラクション
ペルーの民族舞踊マリネラ

表彰式のようす

栗東総合産業株式会社
Ritto Sogo Sangyo
〒520-3036　滋賀県栗東市十里244番地
TEL 077-552-1711㈹　FAX 077-553-4710
URL http://www.ritto.co.jp　E-MAIL info@ritto.co.jp
人に地球にやさしい
ISO14001　ISO9001/14001 ダブル認証取得　ISO 9001

今までに無かったオフィス用品購買システムを提案する！
smartoffice
株式会社 宝文堂
http://www.hobun-do.com
TEL.077-551-1111/FAX.077-551-2345
滋賀県栗東市手原4-2-28

やってみよう！**◆国際理解クイズ◆**

世界で初めて学校給食を出した国はどこでしょう？

①中国　②ドイツ
③アメリカ　④ロシア

答えは6面→